

第 11 章	社会(地理)	名前:		日 付	No.03
	九州地方				

[問題 1]

福岡県の工業について、次の文中の①～③にあてはまる語句を下の[]の中からそれぞれ 1 つずつ選べ。

福岡県の工業は、1960 年代には(①)業が中心で、特に北九州市は(①)業とその関連工場で繁栄した。(①)の生産が減ってくると、それまでにつちかった技術を生かして(②)を処理する産業がさかんになった。北九州市は、環境と開発の両立をめざし、「(③)な社会」の実現に向けたさまざまな努力を行っている。

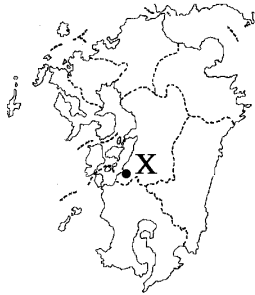
[鉄鋼 機械 化学 廃棄物 持続可能 リサイクル]

[解答欄]

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

[問題 2]

地図中の X で発生した公害病の名前と原因となった物質名を答えよ。



[解答欄]

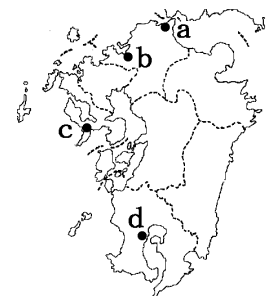
公害病名		原因	
------	--	----	--

[問題 3]

次の各問いに答えよ。

- (1) 九州の中心である県の県庁所在地を a～d から選び、①記号と、
②都市名を答えよ。
- (2) (1)のような地方の中心となる都市を何というか。次の[]から 1 つ選べ。

[地方中心都市 地方中枢都市 地方中核都市 地方中央都市]



[解答欄]

(1)①		②		(2)	
------	--	---	--	-----	--

[問題 4]

次の文の①～④に適語を入れよ。

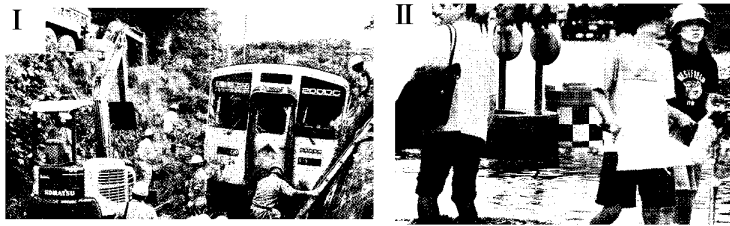
日本では、地方ごとに、九州地方の(①)市、中国・四国地方の(②)市、東北地方の仙台市、北海道地方の(③)市などのような中心都市がある。これらは、(④)都市とよばれ、国の出先機関や大企業の支社が集まり、交通のかなめにもなっている。

[解答欄]

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

[問題 5]

次の写真Ⅰ，Ⅱを見て，以下の各問いに答えよ。



- (1) Ⅰ，Ⅱの災害をそれぞれ何とよぶか。
- (2) Ⅰ，Ⅱの災害に対する備えとして適切なものを次のア～エから2つずつ選んで記号で答えよ。
ア 防災マップを作り，市民の防災意識を高める。 イ 砂防ダムを建設する。
ウ 地下に貯水施設を作る。 エ 間伐や植林を行い，森の保水力を高める。
- (3) Ⅱの災害が都市部で起こりやすい理由を「都市化」「舗装道路」の語句を用いて説明せよ。
- (4) 都市の中心部で気温が高くなる現象を何というか。

[解答欄]

(1) Ⅰ		Ⅱ		(2) Ⅰ		Ⅱ	
(3)							
(4)							

[問題 6]

沖縄の歴史について書かれた次の文の()にあてはまる語句を書け。

(①)王国として交易で栄え，首里城は世界遺産に登録された。第二次世界大戦の末期に激戦地となり，終戦後は(②)の統治が続いたが，1972年に日本に復帰した。しかし(③)条約があるため現在も(②)軍基地がおかれ，その面積は，沖縄島の約2割をしめている。

[解答欄]

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

[問題 7]

次の文を読んであとの各問いに答えよ。

沖縄は1月でも暖かく，島には(①)畑やパイナップル畑が多く広がっている。島のまわりは(②)が発達した海が広がっている。こうした自然を生かした観光産業が重要な産業になっている。

- (1) ①にあてはまる農産物は沖縄が日本一の生産をあげている。この農産物の名前を答えよ。
- (2) ②にあてはまる語句を答えよ。
- (3) 観光産業は，第何次産業か。
- (4) 文中に「1月でも暖かく」とあるが，沖縄の気候帯名を答えよ。

[解答欄]

(1)		(2)		(3)		(4)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--